

# 参加上の注意等

1. 本大会は、2023年度日本陸連競技規則並びに本記録会の申し合わせ事項によって行う。
  - (1)トラック競技（短距離種目）のスタート時のコールは、イングリッシュ・コール
  - (2)トラック競技（長距離種目）のスタート時のコールは、イングリッシュ・コール（『On Your Mark』）で行います。
2. 招集所は、100mスタート側第1ゲート外側脇付近に設けます。
3. 招集（コール）は次の通りとします。
  - (1)コールは、本人が招集開始時刻から招集完了時刻までに、招集所にて腰ナンバーカードを受け取りチェックを受ける。  
（腰ナンバーカードは日立市陸協指定のものを受け取り、折り曲げずに右腰やや後方に着ける）
  - (2)チェックを受けた後、係員の指示に従って競技場所に移動する。
  - (3)招集所では、スタートリストは掲示されないの、招集所係員に必ず申し出ること。
  - (4)選手は受付にてアスリートビブス（ゼッケン）を受け取り、ビブスをユニフォームの胸と背中につけ着用してコールを受けること。  
（ユニフォームは特に規定はなく、学校の体育着や少年団のユニフォーム、Tシャツ・短パンなど動きやすい恰好が好ましい。）
  - (5)招集所完了時刻までに、チェックを受けない選手は棄権とみなす。
4. その他
  - (1)グランプリ大会は公平を期すため、短距離種目においてはスターティングブロックの使用はOKとしますが、スパイクの使用はNGとします。
  - (2)グランプリ大会の短距離種目（100m）については予選・決勝を行います。決勝は、予選上位8名で行います。
  - (3)フィールド競技（走幅跳・ボール投）については、3回の試技を行い順位を決定します。
  - (4)長距離種目については、決勝のみで順位を決定します。
  - (5)グランプリ大会は各種目ごとに表彰がありますので、該当者は決勝終了後、すみやかにメインスタンド下の放送室前に集合してください。  
表彰は各種目の1位にメダル、1位～3位に賞状を授与します。
  - (6)グランプリ大会は、タイムテーブルのトラック種目NO. 1、2及び9～13、フィールド種目NO. 1～3及び5、7～8です。  
（トラック種目NO. 3～8は、幼児～小学6年生までを対象とした一般の記録会になります。）
  - (7)競技中に発生した傷害、疾病についての応急処置は主催者側で行うが、それ以後の責任は負わない。
  - (8)競技者等のマスク着用は、個人の判断とする。ただし、こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を行い、手を清潔に保つこと。
  - (9)今大会より、プログラムについては有料とする。
5. 今大会は携帯・スマートフォン・パソコンから記録速報がご覧いただける予定です。  
下記QRコードを読み込んで戴くか、URLを直接入力し「茨城陸協HP」よりご覧ください。

QRコード



URL

<http://ibariku.com/>

## 【注意事項】

- ① 競技の妨げになるような応援は禁止する。競技役員の指示に必ず従うこと。
- ② スタンド内は、ゴミ箱は設置しないのでゴミは各自自宅へ持ち帰りを原則とする。
- ③ 競技者の人権保護の観点から、写真・ビデオ撮影については以下の事項を禁止とする。
  - (1) 保護者及び本人の同意のない撮影。
  - (2) 主催者より許可された報道機関以外の競技場内での撮影。  
（選手・保護者・引率者についてはメインスタンドのみ撮影可。）

## 救護・応急処置に関する事項

1. 応急処置を要する場合、その他健康上の問題が生じた場合は、近くの競技役員に申し出て救護室を利用してください。（競技役員は、車イスの利用も確認願います。）（看護師が常駐）
2. 競技会当日の競技場内での傷害、疾病などの応急処置は主催者が行いますが、以後の責任は負いません。

## 大会緊急時及び安全対策に関する事項

1. 自然災害に対する対応
  - ①荒天時（大雨・暴風警報等）

避難が必要な場合、場内アナウンスや係員の誘導に従い、安全な場所へ速やかに移動する。
  - ②火災
    - a. 第一発見者は、大声で周囲の人に呼びかけ、非常ベルを押す。
    - b. 大会本部に通報する。
    - c. 場内アナウンスや係員の誘導に従い、慌てずに避難場所へ移動する。
  - ③地震

大揺れの最中（発生から30秒～1分）

    - a. 身の安全を図るため頭部・首を持ち物（バッグ）や衣類等で保護する。
    - b. 危険な場所（窓ガラス付近）にいる場合は、安全な場所へ移動する。
    - c. 安全な場所にいる場合は、その場を動かない。

大揺れおさまる

    - a. 余震や出火の危険もあり、混乱を避けるため、危険な場所にいる場合以外は場内アナウンスや係員の指示があるまでは、その場を動かない。
    - b. 負傷者を発見した場合は、近くの大会関係者や大会本部に通報する。
    - c. 避難が必要な場合は、場内アナウンスや係員の誘導に従い慌てずに避難場所へ移動する。
2. 不審者・不審物に対する対応
  - ①不審者による危機発生時の緊急対応
    - a. 第1発見者は、近くの大会関係者や大会本部に通報する。
  - ②不審物に対する対応
    - a. 不審物を発見した場合は、「触れず・動かさず・近づかず」に直ちに近くの大会関係者や大会本部に通報する。
    - b. 場内アナウンスによる避難指示があった場合は、速やかに従う。

## 参加選手・各学校・所属団体の待機場所について

- ①参加選手・団体の待機場所は、さくらアリーナ周辺、陸上競技場のバックスタンド及び周辺とします。
- ②競技場内（ピロティ）での待機は不可とします。